

厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

平成16年度～18年度 総合研究報告書

主任研究者 三浦 宜彦

平成19（2007）年 4月

目 次

I. 総括研究報告

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究…………… 1

三浦宜彦

(資料1) インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票一式…………… 5

(資料2) 医療機関調査の解析 I —ワクチン接種の現況—…………… 25

渡辺由美

(資料3) 医療機関調査の解析 II —需要予測—…………… 61

延原弘章

(資料4) 住民調査によるワクチン需要予測…………… 87

大日康史

II. 研究成果の刊行に関する一覧表…………… 113

III. 研究成果の刊行物・別刷…………… 115

総合研究報告書

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

主任研究者 三浦 宜彦 埼玉県立大学 教授

研究要旨 インフルエンザワクチン接種の実態を把握し、今後のインフルエンザワクチンの需要を予測することを目的として、医療機関を対象としたインフルエンザワクチン接種状況調査および住民に対する接種意向調査を実施し、ワクチンの接種状況を把握すると共に、需要予測を継続的に行ってきた。その結果、平成 12 年度の接種率は 7.3%と低いものであったが、その後年々上昇して 17 年度に 29.4%となったが、18 年度には 28.0%に低下したことが明らかとなった。また、ワクチン接種率は世代間格差が大きく、18 年度で 1 歳未満 9.0%、1 歳以上 6 歳未満 51.8%、6 歳以上 13 歳未満 37.0%、13 歳以上 65 歳未満 18.4%、65 歳以上 51.3%であった。需要予測については、医療機関調査によるものでは、17 年度は約 2,087 万本から約 2,155 万本、18 年度は約 2,191 万本から約 2,278 万本、19 年度は約 1,951 万本から約 2,006 万本と推計された。住民調査からは、17 年度は約 1,767 万本から約 2,370 万本、18 年度は約 2,035 万本から約 2,261 万本、19 年度は約 1,978 万本から約 2,185 万本と推計された。

分担研究者

渡辺由美 高崎健康福祉大学 教授
延原弘章 高崎健康福祉大学 教授
大日康史 国立感染症研究所 主任研究官

需要の予測は困難を極めている。さらに、13 年度には予防接種法改正による高齢者（65 歳以上）へのインフルエンザワクチンの勧奨接種が実施され、インフルエンザワクチンの需要を的確に把握することが求められている。本研究は、この要請にもとづき、インフルエンザワクチンの需要量の推計方法を確立することを目的として、インフルエンザワクチン接種の現況を把握すると共に、インフルエンザワクチンの需要予測を試みた。

A. 研究目的

インフルエンザの流行は年次変動が大きい上に、平成 6 年度の予防接種法の改正を機にインフルエンザワクチンの接種が任意接種となったことにより、近年、インフルエンザワクチンの

B. 研究方法

下記に示す2種の調査を実施して、インフルエンザワクチン接種の現況を推定すると共に、次年度の需要量についての予測を行った。

1. 医療機関等におけるインフルエンザワクチンの接種状況調査：医療機関等に対し、シーズン前に協力を依頼し、シーズン終了後に調査票の回収を行った。

①社）日本医薬品卸業連合会加盟の医薬品卸売業者が15年度に1本以上を供給した医療機関、老人保健施設および福祉施設（以下「医療機関等」）75,997施設の中から、都道府県を層として無作為に調査対象施設の抽出を行った。

抽出した医療機関等の施設数は、16年度が5,083施設（抽出率6.7%）、17年度が5,099施設（抽出率6.7%）、18年度が4,874施設（抽出率6.4%）である。

②調査項目は、ワクチンの購入本数、使用本数、世代、接種回数別接種状況、次年度予測接種者数とした。

2. 住民を対象としたインフルエンザワクチン接種意向調査：高齢者、幼児・児童、成人の3グループを対象としてインフルエンザワクチンの接種意向調査を行った。

①17年度の予測では880世帯に送付し、772世帯から回収を得た（回収率88%）。個人数は2381人であった。18年度の予測では、2615世帯に送付し、1858世帯から回収を得た（回収率71%）。個人数は10398人であった。19年度の予測では、2615世帯に送付し、1811世帯から回収を得（回収率69%）、4997人からの回答を得た。

②調査項目は、実際の接種の有無（有りの場合

は自己負担額）、次年度のワクチン接種意向およびJoint Estimationのための設問とした。

（倫理面への配慮）

医療機関等に記入を依頼した接種状況リストには、被接種者の年齢区分、対象者区分（入院・外来の別、患者・施設入所者・医療従事者等の別）、接種方法、接種日の記入のみを求め、氏名をはじめとする個人を特定される情報の記入は求めなかった。また、インフルエンザワクチン接種意向調査においても、調査対象住民の氏名、住所等の匿名性が失われないようにした。

C. 研究結果

1. 医療機関調査

1) 回収率は、16年度から順に、31.4%、31.7%、33.0%であった。また、母数に対する回収率は、それぞれ2.10%、2.12%、2.12%であった。

2) 接種率は、13年度から順に、1歳未満が12.7%、12.5%、9.0%、1歳以上6歳未満が52.9%、60.5%、51.8%で、6歳以上13歳未満が31.2%、40.4%、37.0%、13歳以上65歳未満が14.5%、19.6%、18.4%、65歳以上が48.2%、53.1%、51.3%となっており、全年齢では23.9%、29.4%、28.0%と推定された。

3) 次年度の需要予測本数は、17年度が約2,087万本から約2,155万本、18年度が約2,191万本から約2,278万本、19年度が約1,951万本から約2,006万本と推計された。

2. 住民調査

1) 有効回答率は、13年度から順に87.7%、71.1%、69.3%であった。

2) 接種率は、16年度から順に、幼児・児童が32.2%、41.2%、27.2%、成人17.4%、28.4%、19.0%、高齢者54.0%、62.8%、58.7%であった。

3) 幼児・児童は2回接種、成人は80%が1回接種、20%が2回接種、高齢者は1回接種と仮定して、17年度は、自己負担額が高齢者で1,500円、65歳未満で1回あたり3,000円とした場合、Joint Estimationにより約1,767万本から約2,370万本と推計された。18年度は、高齢者と65歳未満での自己負担額の分布に基づいて積分を行うと、約2,035万本から約2,261万本、19年度も高齢者と65歳未満での自己負担額の分布に基づいて積分を行うと、約1,978万本から約2,185万本と推計された。さらに、17年度については、年の後半に鳥インフルエンザの国内での患者が発生した場合には274万本、SARSの場合には542万本の追加需要が見込まれ、18年度については、年の後半に鳥インフルエンザの国内での患者が発生した場合には470万本の追加需要が見込まれた。

D. 考察

1) 6年の法改正により、インフルエンザ予防接種は任意接種に変わり、全国的な接種率の把握については困難な状況にあるが、継続的な調査により、全体の接種率は低いものの上昇傾向にあることや世代間格差の大きいことが判明した。

2) 医療機関調査では、本調査によるワクチン使用量と厚生労働省が公表しているワクチン使用量との比によって補正を行なったが、この補正を都道府県別に行なうことによっ

てさらに正確な補正が可能となると考える。

3) 18年度には、上記の補正のほかに、1回の接種量を薬事法の用量どおりとし、さらに廃棄率を推計して加味する方法へと改良を試みた。

この改良は、これまで7年次に渡っての継続的な調査によって可能となったものと思える。

4) 住民調査では、17年の需要量について、SARSや鳥インフルエンザが国内で発生した場合の検討を行い、最大2,500万本近い需要があるものと予測されたが、実際に発生した場合、マスコミ等の報道のされ方によっても需要動向は大きく変化することが考えられる。いずれにしてもさらに経年的調査が必要であろう。

E. 結論

1. ワクチン接種率は、12年度の接種率が7.3%で、その後年々上昇し、17年度には29.4%に達したものの、18年度には28.0%に低下した。
2. 接種率には世代間格差がみられ、1～6歳と65歳以上の接種率が他の世代に比べると高かった。
3. 13歳未満の2回接種割合は、どの世代でも7割以上と高く、最近では8～9割程度で安定していた。
4. 需要本数の予測に際して、1回あたりの接種量は、薬事法の用量どおりと仮定して、数パーセント程度の廃棄量を加算するのが適当である。
5. 需要本数の予測には、接種者数の予測が重要であり、そのためには、接種者数や接種率についての動向を経年的に把握することが

不可欠である。

6. インフルエンザワクチンの需要動向には、SARS や鳥インフルエンザの流行が影響するものと考えられるが、マスコミ等の報道のされ方によるところも大きいと考えられる。
7. インフルエンザワクチン需要量の定型的な推計方法を確立するためには、長期にわたる継続的な調査が必要である。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

- 1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦, 中井清人 : 2004/05年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 厚生指標 52(13): 30-37, 2005
 - 2) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦, 中井清人 : 2005/06年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 厚生指標 53(6): 15-23, 2006
 - 3) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦, 中井清人 : 2006/07年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 厚生指標 54 (印刷中), 2007
- ### 2. 学会発表
- 1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 3-第1報 03/04年シーズン接種状況-. 第63回日本公衆衛生学会総会, 2004.10 (日本公衛誌 51(10):195, 2004)
 - 2) 渡辺由美, 延原弘章, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 3-第2報 04/05年シーズン需要予測-. 第63回日本公衆衛生学会総会, 2004.10 (日本公衛誌51(10) 特別付録: 195, 2004)
 - 3) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 3-第3報 接種状況の推移-. 第63回日本公衆衛生学会総会, 2004.10 (日本公衛誌51(10) 特別付録: 196, 2004)
 - 4) 渡辺由美, 延原弘章, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 4-第1報 04/05年シーズン接種状況-. 第64回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (日本公衛誌52(10) 特別付録: 274, 2005)
 - 5) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 4-第2報 05/06年シーズン需要予測-. 第64回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (日本公衛誌52(10) 特別付録: 274, 2005)
 - 6) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 5-第1報 05/06年シーズン接種状況-. 第65回日本公衆衛生学会総会, 2006.10 (日本公衛誌53(10) 特別付録: 277, 2006)
 - 7) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 5-第2報 06/07年シーズン需要予測-. 第65回日本公衆衛生学会総会, 2006.10 (日本公衛誌53(10) 特別付録: 277, 2006)

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

資料 1 医療機関調査に使用した調査票（平成 18 年度版）

平成18年9月末日

御担当者各位

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（協力依頼）

厚生労働省では、インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）について、その需要をよりの確に把握し、安定供給を行うために、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、需要予測のための調査・検討を行っています。

次シーズン（平成19年度）の需要予測を行うためのデータを作成するためには、今シーズンの調査をシーズン中に実施する必要があります。そのため、インフルエンザワクチン需要調査研究班が需要予測のための調査を実施しております。医療機関、老人保健施設、老人福祉施設及び児童福祉施設等のワクチン接種施設に調査票を配布し、シーズン終了後に回収いたしますので、貴施設におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただき、何卒御協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨シーズンも、ワクチン接種施設の皆様に使用本数等の調査に御回答をいただき、その集計結果をもとに、今シーズンにおけるワクチンの需要予測を行いました。

なお、都道府県等の自治体や地域医師会等より、シーズン中にワクチンに関する別の調査を依頼される場合もあるかと存じますが、それは主に、シーズン中における在庫状況を調査するためのものであり、本調査とは趣旨が異なりますので御承知おき願います。

平成18年9月末日

御担当者各位

インフルエンザワクチン需要調査研究班
主任研究者 三浦 宜彦

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（依頼）

インフルエンザワクチンは、ご承知のとおり、平成6年の予防接種法の改正でインフルエンザの予防接種が任意接種となったのを契機に、その製造量は激減いたしました。しかし、近年、インフルエンザの重症化防止として、ワクチンの効果が見直され、その需要は、特に高齢者を中心に急激に伸びております。そこで、厚生労働省では、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、インフルエンザワクチンの安定供給に努めているところです。

今般、平成19年度のインフルエンザシーズンの需要予測に向けて、平成18年度の使用状況を調査するために、シーズン開始時に調査票を配布し、シーズン終了後に回収・集計することを考えております。本調査の趣旨をご理解いただき、是非、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

調査にご協力いただけましたら、インフルエンザワクチンの使用時に同封いたしました調査票に必要事項をご記入いただき、シーズン終了後（貴施設でのインフルエンザ予防接種終了後から3月31日まで）に同調査票をご返送いただきますようお願い申し上げます。ご返送の際には、同封の受取人払い返送用封筒をご使用ください。

なお、調査結果につきましては、集計結果のみを公表することとし、個別データの公表は一切致しませんので、ご迷惑をおかけすることはございません。

<調査スケジュール>

10月	調査票の郵送
10月～2月末日 (今シーズン全期間)	接種状況調査期間
3月末日	調査票の返送期限

インフルエンザワクチン需要調査

1. 目的

次シーズン（平成 19 年度）に向けてインフルエンザワクチンの需要を把握し、需要に見合う量のワクチンを出来る限り円滑に製造・供給をする。

2. 調査方法

インフルエンザワクチンの接種時期に先駆けて無作為に抽出した医療機関, 老人保健施設, 老人福祉施設, 児童福祉施設, ならびにその他の施設に 3 年間継続で調査依頼を行う（本年度は 3 年目）。協力施設等においてインフルエンザワクチン接種時に調査票に必要事項を記入する。シーズン終了後にそれらの調査票を回収し、集計する。

3. 調査の位置付け

厚生労働省医薬食品局に設置された「インフルエンザワクチン需要検討会」の検討結果をもとに、研究班により実施。

4. 照会先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 8 2 0 番地

埼玉県立大学保健医療福祉学部 みうら 三浦 よしひこ 宜彦

TEL&FAX : 0 4 8 (9 7 3) 4 3 2 5

e-mail : kango-d @spu. ac. jp

インフルエンザワクチン接種状況リストの記入の手引き

- ◆ この手引きを参照して、ご記入くださいますようお願いいたします。
- ◆ ご記入の際、ご不明な点等ございましたら、お尋ねください。
- ◆ インフルエンザワクチン接種状況リストが不足した場合は、ご請求ください。
(お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。)

埼玉県立大学内 インフルエンザワクチン需要調査研究班 三浦宜彦

TEL 048-973-4325

FAX 048-973-4325

e-mail kango-d@spu.ac.jp

1. 集計方法

①調査票のインフルエンザワクチン接種状況リストに、直接集計結果を記入する場合

- ・接種者1人を1行に記入する方法
- ・同日に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、1日分をまとめて1行に記入する方法
- ・同期間に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、期間分をまとめて1行に記入する方法

☆いずれの方法で記入していただいても結構です。

②コンピュータ集計の場合

コンピュータ集計をされている施設では、調査票のインフルエンザワクチン接種状況リストに転記する手間を省くため、そのまま集計データをお送りいただいかまいません。

その場合、できれば入力例のように、必要調査項目には漏れのないようご提出ください。

送っていただくデータは、Windowsで読める形式であれば、媒体はFD, MO, CD-R等、何でも結構です。

なお、e-mailでのご提出も受け付けておりますので、下記アドレスに送信してください。

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

3～7ページの記入・入力例をご参照ください。

2. インフルエンザワクチン接種状況リストの記入方法

- 1) 接種日(期間) 接種日(期間)をご記入ください。
 - ・ 1日の場合 : 上段に平成×年×月×日と記入し、下段は線を引くなどして消しておく。
 - ・ 複数日の場合 : 上段に開始日を記入し、下段に終了日を記入する。☆いずれの場合も、必要な項目はハッキリと記入し、不要な記述は消しておいてください。

- 2) 年齢区分 該当する年齢区分の数字1つに○をつけてください。
- 3) 対象者区分 該当する対象者区分の数字1つに○をつけてください。
・「入院患者」とは貴施設が医療機関（病院・診療所）の場合、貴施設の入院患者をいいます。
・「施設入所者・通所者」とは、貴施設が老人保健施設、老人福祉施設等の福祉施設、その他の施設の場合、貴施設の入所者又は通所者をいいます。
・「医療従事者・施設従事者」とは、貴施設の医療機関及び施設の職員等の従事者をいいます。
・貴施設で購入したワクチンを外部施設で接種する場合、対象者区分は『5：1～4以外』となります。
- 4) 接種方法 該当する接種方式の数字1つに○をつけてください。
- 5) 人数 接種者1人を1行に記入する場合は1を、同じ条件の接種者を期間分まとめて記入する場合は、集計した人数をご記入ください。
- 6) 集計用欄 同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者を、まとめて記入される場合にご利用ください。

* インフルエンザワクチン接種状況リストが不足する場合は、ご請求ください。

* お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。

【記入例1】接種者1人ずつ記入する場合

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成18年10月4日 平成 18 年 10 月 4 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	
平成18年10月4日 平成 18 年 10 月 4 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	
平成18年10月4日 平成 18 年 10 月 4 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	

【記入例2】同じ条件の接種者をまとめて記入する場合

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成18年10月10日 平成 18 年 10 月 10 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	15	正正正
平成18年10月16日 平成18年10月22日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	32	正正正正 正正正下

【記入例3】混在した方法で記入する場合

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成18年11月5日 平成18年11月5日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	
平成18年11月 日 平成18年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	1: 外来患者 ②: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	15	正正正
平成18年11月6日 平成18年11月12日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	33	正正正正 正正下
平成18年 月 日 平成18年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	27	正正正正 正正下
平成18年11月14日 平成18年11月14日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	—

↑

同じ期日が続く場合は〃、同上、等でも可

※注意 以下のようにには記入しないようご注意ください

接種日 (期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成18年11月20日 平成18年11月21日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 施設従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	4	正
平成18年11月25日 平成18年11月26日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 施設従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	26	正正正正 正
平成18年12月1日 平成18年12月7日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 施設従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	41	正正正正正 正正正正



1つの区分の欄には2つ以上の○をつけない

【コンピュータ集計の場合の入力例】 Excelを使用した場合
 ※ 注意 ファイル名には、必ず施設名をご使用ください。

Microsoft Excel - 施設設名.xls

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	名称	埼玉県立大学						
2	施設の種類コード	60						
3	所在地	埼玉県越谷市三野宮820						
4	TEL	048-973-4325						
5	FAX	048-973-4325						
6	E-mail	kango-d@sou.ac.jp						
7	担当者所属部署	保健医療福祉学部						
8	担当責任者	三浦宜彦						
9								

NUM SCRL

Microsoft Excel - 施設設名.xls

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	18年度(本シーズン)ワクチン											
2	準備本数	使用本数										
3	1ml	0.5ml	1ml	0.5ml	1歳未満	1歳-6歳	6歳-13歳	13歳-65歳	65歳以上	計		
4	120	60	114	55	0	0	3	62	65	130		

NUM SCRL

Microsoft Excel - 自施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P)

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

G6

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1	ワクチンの在値状況										
2	昨シーズン(17年12月末現在)										
3		1				2					
4											

NUM SCRL

Microsoft Excel - 自施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P)

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

G13

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	接種日(期間)	年齢区分	対象者区分	接種方法	人数					
2	1	10/25	4	1	1	1					
3	2	10/27	3	1	2	3					
4	3	10/27	4	1	1	5					
5	4	10/27	4	4	1	18					
6	5	11/1~12/29	3	1	1	45					
7	6	11/1~12/29	4	1	1	38					
8	7	11/1~12/29	5	1	1	26					
9	8	1月	3	1	1	15					
10	9	1月	4	1	1	12					
11											

接種者を1人ずつ記入

同じ条件の接種者ごとに1日分まとめて集計

同じ条件の接種者ごとに一定期間まとめて集計

同じ条件の接種者ごとに一月分まとめて集計

NUM SCRL

インフルエンザワクチン接種状況調査票

名 称	
施設の分類コード (表紙裏のコード表をご参照ください)	
所在地	都 道 市 区 府 県 町 村
連絡先	電話番号
	F A X
	e-mail アドレス
担当者所属部署	
担当責任者名	

- ・ 1 ページの「質問 1, 質問 2, 質問 3」は、本調査票返送時（シーズン終了後）にご記入ください。
- ・ 5 ページ以降の「インフルエンザワクチン接種状況リスト」は、別添の「インフルエンザワクチン接種状況リスト」の記入の手引きに従って、本シーズン中、インフルエンザワクチンを接種する度にご記入ください。

施設の種類コード表

医療機関	コードNo.
診療所	0
国（厚生労働省）	1
国（文部科学省）	2
国（労働者健康福祉機構）	3
国（その他）	4
都道府県	5
市町村	6
日赤	7
済生会	8
北海道社会事業協会	9
厚生連	10
国民健康保険団体連合会	11
全国社会保険協会連合会	12
厚生年金事業振興団	13
船員保険会	14
健康保険組合及びその連合会	15
共済組合及びその連合会	16
国民健康保険組合	17
公益法人	18
医療法人	19
学校法人	20
社会福祉法人	21
医療生協	22
会社	23
その他の法人	24
個人	25
病院〔開設者別〕	

医療機関以外の施設	コードNo.
老人保健施設	30
老人福祉施設	
特別養護老人ホーム	41
養護老人ホーム	42
軽費老人ホーム	43
有料老人ホーム	44
その他の老人福祉施設	45
児童福祉施設	50
コード0～50以外の施設	60